2018年(平成30年)2月 いわき大王製紙㈱ 産業廃棄物処理施設の維持管理の状況に関する情報

1. 総括　　産業廃棄物処理施設の維持管理における基準値超過はありませんでした。

2. 維持管理の状況に関する情報

		1号焼却炉		2号焼却炉(3号ﾎﾞｲﾗｰ)		3号焼却炉(4号ﾎﾞｲﾗｰ)	
運転状況		稼働		稼動		稼動	
1) 廃棄物の種類と処分量							
(1)産業廃棄物の種類		汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類 紙くず	汚泥	木くず	汚泥	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類 紙くず
(2)処分量	(ﾄﾝ/月)	74	0	2,353	0	3,639	2,188

2) 産業廃棄物処理施設での維持管理状況

(1)燃焼ｶﾞｽ温度、集じん機前燃焼ｶﾞｽ温度、排ｶﾞｽ中の一酸化炭素濃度				
①燃焼ｶﾞｽ温度	(℃)	821	968	861
(維持管理基準)	(℃)	(800以上)	(800以上)	(800以上)
②集じん機前燃焼ｶﾞｽ温度	(℃)	194	164	184
(維持管理基準)	(℃)	(おおむね200以下)	(おおむね200以下)	(おおむね200以下)
③排ｶﾞｽ中の一酸化炭素濃度	(ppm)	3.67	12.53	1.61
(維持管理基準)	(ppm)	(100以下)	(100以下)	(100以下)
④排ｶﾞｽを採取した位置		別図1	別図2	別図3
⑤測定結果が得られた日		2018年3月1日	2018年3月1日	2018年3月1日

＊燃焼ｶﾞｽ温度、集じん機前燃焼ｶﾞｽ温度、排ｶﾞｽ中の一酸化炭素濃度は、全て連続測定しており、記載している数値は、月間平均値です。
なお、連続測定のﾃﾞｰﾀ表は、弊社で閲覧可能です。

(2)排ｶﾞｽ中のﾀﾞｲｵｷｼﾝ濃度				
①ﾀﾞｲｵｷｼﾝ濃度	(ng-TEQ/m^3N)	0.0000016	0.00000060	0.015
(排出基準)	(ng-TEQ/m^3N)	(0.1以下)	(0.1以下)	(0.1以下)
②排ｶﾞｽの採取日		2017年5月19日	2017年6月15日	2017年6月16日
③排ｶﾞｽを採取した位置		別図1	別図2	別図3
④測定結果が得られた日		2017年6月28日	2017年7月25日	2017年7月25日

＊ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類濃度は、最新のﾃﾞｰﾀです。採取日から測定結果が得られる日まで、約1ヶ月かかります。

(3)ばいじん除去の実施年月日			
①冷却設備	—	2017年4月14日 ～ 4月22日	2017年10月7日 ～ 10月12日
②集じん機	—	2017年4月19日 ～ 4月20日	2017年10月17日
③湿式ｽｸﾗﾊﾞｰ	—	2017年4月15日	2017年10月8日 ～ 10月18日

＊記載した年月日は、冷却設備、集じん機,湿式ｽｸﾗﾊﾞｰに堆積したばいじんを除去した日を示しています。

(4)ばい煙濃度				
①硫黄酸化物(K値)		0.0083未満	0.49	0.13
(排出基準)		(6以下)	(6以下)	(6以下)
②窒素酸化物(濃度)	(ppm)	150	91	58
(排出基準)	(ppm)	(250以下)	(250以下)	(250以下)
③ばいじん濃度	(g/m^3N)	0.002未満	0.0085	0.0019
(排出基準)	(g/m^3N)	(0.04以下)	(0.04以下)	(0.04以下)
④排ｶﾞｽの採取日		2017年5月19日	2018年2月19日	2018年2月19日
⑤排ｶﾞｽを採取した位置		別図1	別図2	別図3
⑥測定結果が得られた日		2017年6月13日	2018年3月5日	2018年3月5日

K値は、硫黄酸化物排出量を有効煙突高さの2乗で割った値で、排出基準として大気汚染防止法で定められた数値です。
硫黄酸化物排出量は、地域別に定められたK値で規制されており、K値が小さいほど規制が厳しくなります。

(5)塩化水素濃度				
①塩化水素濃度	(mg/m^3N)	11未満	20	5.0
(排出基準)	(mg/m^3N)	(700以下)	(700以下)	(700以下)
②排ｶﾞｽの採取日		2017年5月19日	2017年12月26日	2017年12月8日
③排ｶﾞｽを採取した位置		別図1	別図2	別図3
④測定結果が得られた日		2017年6月13日	2018年2月2日	2018年1月17日

＊塩化水素濃度は、6ヶ月を超えない作業期間毎に1回測定します。
記載の数値は最新のﾃﾞｰﾀです。採取日から測定結果が得られる日まで、最大で約1ヶ月かかります。